

2020東京五輪競技エリアにおける 3Rと持続可能性社会を目指して

株式会社市川環境エンジニアリング(東京五輪プロジェクト)

東京五輪における環境理念

○2020オリンピック・パラリンピック開催時の東京が“世界のどの都市よりも清潔で綺麗な街、”環境モデル都市・TOKYO”であること。「また再び、TOKYOに来てみたい」と国内外の人々が思い慕うような環境に配慮した都市であること。

○そのため、2020五輪時は、競技場エリアからの廃棄物はすべて統合管理されたシステム化にすること。来場者、キャストが一丸となった廃棄物抑制、分別などを“統一された環境理念”のもと統合廃棄物管理システムを実行すること。

○廃棄物由来の近未来実現可能なエネルギー活用など、最先端環境ソフトウェア、ハードウェアを駆使した機能をも備え、事業化インキュベーター機能も備えること。

○オリンピック・パラリンピック終了後も、「オリンピック・パラリンピックを契機として設けられた遺産」として持続可能な継続事業にすること。

産学官の枠を超え、東京五輪をきっかけに地球レベルでの温暖化対策、環境汚染対策の一助になるべく、高い意志をもって取り組むこと。

環境取組みコンセプト

○リデュース (Reduce) が最優先

オリンピック開催時は五輪以外の場所でも観光客が増えることが予想される。



人の大幅増に伴い、ごみ量も増えることが予想される。

そのため五輪関連施設では**ゴミゼロキャンペーン**等を積極的に行うことが重要。

(一例)ごみ持ち帰り運動、マイボトルキャンペーン等

○リユース (Reuse) も積極的に

使い捨ての容器を減らし、リユースコップ等の使用も検討すべきではないか？！

○優れたリサイクル(recycle)のための取組み

⇒**徹底した分別**(エコステーション設置)により有価物と廃棄物とを明確にする。

⇒廃棄物に対しては**エネルギー化、資源化**を優先し、埋立てには回さない。

廃棄物も分別すれば資源

リサイクルフローと新エネルギーへの展望

エコステーションと五輪色ゴミ箱設置



- 競技場には、観戦者や大会関係者等から廃棄物を回収する「エコステーション(仮称)」を設け、エコステーションには5種類に色分けしたゴミ箱を設置する。
- エコステーションにはボランティアを配置し、来場者等に対し分別指導を行う。
- エコステーションで回収した廃棄物は一旦バックヤード等に一次保管を行い、適宜輸送事業者へ引き渡す。

リサイクルフローについて

リサイクルステーション・発電



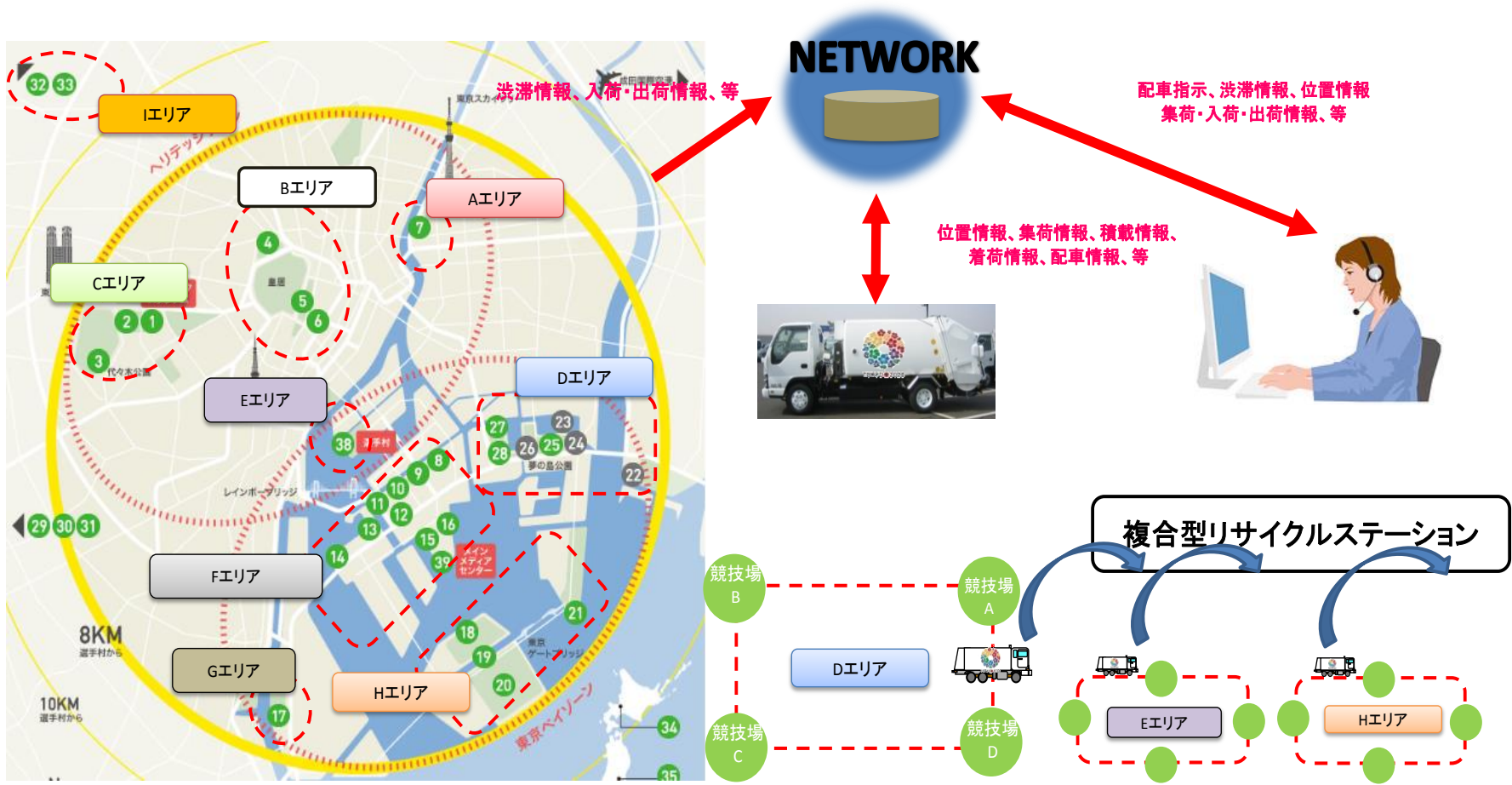
エコステーション

二次分別により資源化・燃料化を推進

燃料電池発電



車両管理とセキュリティについて



バイオマスエネルギーの展望と2次選別について

複合型リサイクルステーション
(バックヤード)

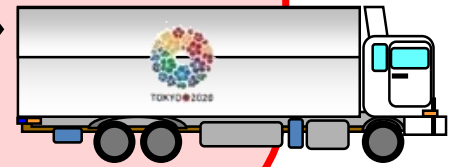
バイオマス
中間処理



【水素&ジェット燃料製造・供給】



ジェット燃料
水素燃料



選別ヤード

【選別・異物除去・圧縮梱包】

競技場エコステーション
選手村

